

さいたま市のリニューアル

2020年、新型コロナウイルスの感染拡大によって、私たちの生活は一変した。外出制限や休業を余儀なくされるなかで、文化や芸術、スポーツの価値を改めて実感した人も多いはずだ。自然の美しさに心が癒され、アートやスポーツが生きる希望を与えてくれることを、私たちは再認識した。

一方で、現在のさいたま市はどうだろう？ビジョンのない都市開発によって、駅前には個性のない商業施設が建設され、街の特色や文化が失われつつある。この20年間で市内の緑地は10%以上も減少し、子どもたちの遊び場は減り続ける一方だ。観光や企業誘致のポテンシャルは高いのに、PR戦略が不十分で、ブランディングがほとんど機能していない。そしていつの間にか、私たちは自分たちの街を誇りに思えなくなっている。

2025年、みんなで一緒にさいたま市をリニューアルしよう。行政主導ではなく、市民の意見を拾い上げるまちづくりへ転換しよう。国際的な視点を取り入れて、観光やビジネスの拠点として発展しよう。失われたアイデンティティを取り戻し、持続可能な未来を実現するために、今こそ新しいリーダーシップが求められている。

小袋 成彬

さいたま市長候補

さいたま市のリニューアル

小袋 成彬

お ぶ く ろ な り あ き

さいたま市出身
ミュージシャン・作家
34歳

公共空間の
規制緩和

緑を
増やす

教育・
福祉改革

4年に1度の
さいたま市長選挙

5.25(日)

投票できる期間

5月12日(月)～5月25日(日)

埼玉県さいたま市生まれ／立教大学卒／株式会社TOKA代表取締役／さいたま市の旧大宮図書館リノベーション事業やさいたま国際芸術祭2023の総合ディレクターに挑戦するなど、さいたま市のリニューアルに向けて奮闘中。



小袋成彬後援会 LINEアカウント



ID: @015ngmnk
小袋成彬の最新情報を配信しています

証紙貼付枠

■頒布責任者：小袋成彬_埼玉県さいたま市中央区下落合5丁目2-2 ホープセンターさいたま ■印刷者：株式会社プリントバック_京都府向日市森本町野田 3-1

さいたま市のリニューアル

政策とロードマップ



詳しい公約は
公式HPをチェック
obukuro.nariaki.jp

小袋成彬と一緒に、新しいさいたま市を作ろう！



市民が誇りに思う街

公共空間の規制緩和

市民が主役になるようなボトムアップのまちづくりをしよう。
駅前で音楽を、公園でボール遊びを楽しめるように。
個人店が商売をしやすくなるように。
公共施設を使いやすくすれば、経済と文化を同時に育てることができる。

2025

リニューアル元年

2026

制度改革

2027

文化改革

2028

脱炭素化の加速

2029

国際都市の誕生

2030

日本の新都心へ



2026年
不登校児童数の減少



2028年
緑被率が40%台に



2030年
自殺者数が過去最少

大宮盆栽村の開村100周年
大宮盆栽博物館の営業再開

- 与野新アリーナ建設の見直し
- デザインチームの発足
- 人事や予算の見直し
- さいたまクリテリウムの中止
- 七里駅の三本桜の保護

さいたま国際芸術祭2026
さいたまスーパーアリーナ休館
さいたま市生誕25周年
浦和駅西口再開発の竣工

- HPのリニューアル
- 保育士の賃金引き上げ
- 高齢福祉課の職員の増員
- 風致地区条例の改正
- 公共施設のWi-Fi整備
- ケアマネジャーの人材確保
- 子供の権利条例の制定
- パスポート取得助成金
- 学校の給食室にエアコン設置

さいたま市議会選挙(4月)
外国人人口が4万人を突破

- 与野中央公園のオープン
- 芝川の遊歩道の竣工
- 駒場運動場のリニューアル
- 公立保育所の維持拡大
- 自転車専用レーンのデザイン
- 公営駐輪場のリニューアル
- 大宮盆栽美術館の黒字化
- 部活動の地域移行の推進

人口が138万人に

EV向けの充電インフラ拡充
浦和美園の緑のネットワーク
水路ネットワークの確立
グリーン投資の加速
自動運転バスの運行開始

さいたま市長選挙(5月)

新たなIB認定校誕生
充電道路の拡充
生活保護利用の周知
有機農産物の観光産地化
東西アクセスの改善
海外での盆栽エキシビション

人口が140万人を突破

- 日本初の国立公園都市へ



新しいさいたま市を一緒に作ろう！



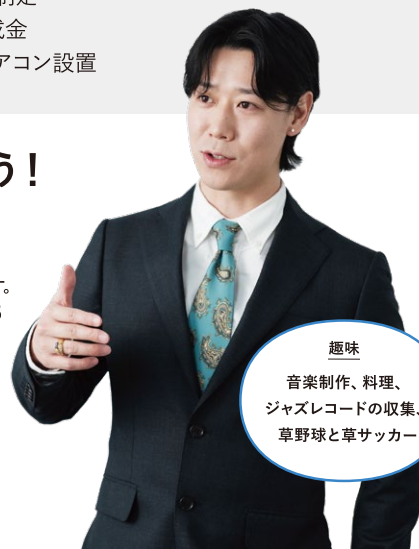
◀ 寄附(献金)はこちら

個人献金を行う場合は、選挙ドットCOMの会員登録が必要です。
<https://go2senkyo.com/donate/agree/195735>



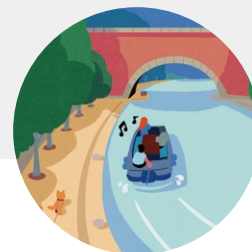
◀ 小袋成彬 YouTubeチャンネル

YouTube
www.youtube.com/@obukuronariaki



趣味

音楽制作、料理、
ジャズレコードの収集、
草野球と草サッカー



自然と共に生きる街

緑を増やす

再開発計画を見直して、緑があふれるまちづくりをしよう。
自然によって心と体が健やかになれば、街の公共福祉にも繋がる。
水辺や用水路を活用すれば、暑すぎる夏を涼しく過ごせるし、
災害にも強い街になるはずだ。



国際的な新都心

教育・福祉改革

多様化するライフスタイルを支えるための仕組みを整備しよう。
教育委員会と学校現場にコミュニケーションを。
ケアマネジャーや保育士の人材確保と処遇改善を。
誰もが安心して働けるような、世界に誇る国際都市にリニューアルしよう。